

単元名 天皇を中心とした政治

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手がかりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解するとともに、当時の人々の生活の様子や身分による違いなどについて調べ、まとめることができる。
- (2) 代表的な人物の業績や大陸との関係、人々の様子に着目して、どのように天皇中心の社会が形成されていったのかを考えたり、調べたことや考えたことを表現したりすることができる。
- (3) 天皇中心の社会が確立されるまでの人々のくらしや人物の働き、海外の国と日本の国との関わりについて考え、意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

06030105_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 法隆寺の写真や、法隆寺建立の想像図を見て話し合い、単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創建されたところの法隆寺の想像図から、気付いたことや思ったことを発表する。 ○ 法隆寺や聖徳太子について知り、単元の学習問題をつかむ。 ★ 聖徳太子や天皇は、どのような国づくりを目指していたのだろう <p>2 飛鳥・奈良時代について見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題について予想し、話し合う。 ○ 予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる内容…聖徳太子の政治、聖武天皇の目指した政治、聖徳太子が亡くなった後の政治、大仏作り、大陸との関係 ・ 調べる方法…教科書、資料集、図書資料、インターネットの活用 <p>3 聖徳太子が行ったことについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聖徳太子について調べ、国づくりの様子を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冠位十二階 ・ 十七条憲法 ・ 遣隋使 <p>4 新しい国づくりは、どのように進められたか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聖徳太子の後、国づくりがどのように進んでいったか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大化の改新、遣唐使、中国の政治制度を手本にしたこと <p>5 聖武天皇の願いと、行基の活動や大仏作りを支えた人々の活躍について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東大寺の大仏について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ、誰が作らせたのか、なぜ作ったのか、どのように作るのか ○ 聖武天皇の願いを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教の力で国を幸せにしたい ○ 行基などの大仏作りに貢献した人々の働きについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行基らによって、国家的な大事業として大仏作りが行われた。 <p>6 大仏が作られたころの貴族や農民の暮らしを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当時の人々の暮らしについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木簡、特産物と税を都へ運んでいた、農民と貴族の食事の比較 <p>7 世界とはどのような交流があったかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正倉院の宝物や遣唐使がもたらしたもののについて調べる <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国からもたらされた宝物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P.70～71の資料を手がかりに、聖徳太子が目指した世の中に関心をもたせる。 ・ 道具や工法など行の様子、しぐさや服装など人の様子などに着目させる。 【評】想像図を基に話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 法隆寺が世界最古の木造建築であることや、世界遺産に登録されていることなどの説明を加えながら、それを建てた聖徳太子の考えなどに関心をもたせる。 ・ 巻末の年表を概観させ、当時の政策や大仏建立の記述等に着目させ、聖徳太子や天皇がどんな国づくりを目指していたのかについて予想を立てさせる。 ・ 天皇中心の国づくりを目指していたことを捉えさせる。 ・ 古墳時代と比較させることで、聖徳太子が新しい国づくりを行ったことを押さえる。 ・ 土地と人民を国のものとし、農民が国に税を納める制度を整えることが、天皇中心の政治の仕組みであることを理解させる。 【評】新しい国づくりを調べる活動を通して、「知識・技能」を調べる。 ・ 大仏の大きさをつかませるために、校舎の高さや運動場の広さと比べたり、実際に目や鼻の穴、手の平を紙に書いて切り取ったりするなどして、実感させるとよい。 ・ 仏教によって国を治めるために、日本中に国分寺を建てたことを国分寺の分布の資料から確認する。 ・ 聖武天皇の生涯の年表から、寺や大仏作りに励んでいたことを読み取らせる。 【評】聖武天皇の願いを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 行基の活躍や、協力した人々たちによって大仏作りがすすめられたことを理解させる。 ・ 資料から、農民の税負担は大変厳しいものであったことに気付かせる。 ・ 貴族の暮らしは、農民によって支えられていたことに気付かせる。 ・ 地図や地球儀を使って、ローマやペルシャなどの地域や、遣唐使の航路を調べさせる。

- ・海外の進んだ文化や技術，政治の仕組み
- 鑑真や阿倍仲麻呂について調べる。
 - ・鑑真…仏教の発展につくした
 - ・阿倍仲麻呂…唐の朝廷に仕えた
- 8 単元のまとめをし，学習の振り返りをする。
- 飛鳥時代と奈良時代について，まとめる。

○学習問題について，自分の考えをまとめ，話し合う。

- ・大陸とつながっていたことをつかませる。
 - ・人の交流もあったことをつかませ，大陸から多くのことを学ぼうとしていたことをつかませる。
 - ・天皇中心の政治から，仏教に基づく国づくりへと変わっていったが，目指していた世の中は天皇が中心の政治であり，世の中が平和であることを願っているものだということをまとめさせる。
- 【評】自分の考えを書いたり発表したりする活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】